

向東小学校だより

No. 9

尾道市立向東小学校
平成29年12月22日(金)
発行責任者 石原政信

昨年度の途中から取り組んできたロング休憩での遊びや、日常の掃除、ランチルームを利用した給食などにおいて、縦割り班活動が定着してきました。下位の学年から見れば、上位の学年と接する事は、自分がどう振る舞えば良いか、そのお手本と出会うことに繋がります。また、上位の学年から見れば、リーダーシップを発揮せざると得ない立場に立たされることにより、リーダー性や配慮の行動が磨かれます。育てるには育つ環境を用意することが大切だと考え、様々な取組を推進しています。今年度は、6年生を送る会も縦割り班で行う予定です。

心を繋ぐ



命を守る

T・A・L・K

冬季休業中に入ります。生活リズムが大きく変わるとともに、児童の行動範囲も広がる可能性があります。各御家庭においては、児童が安全にかつ充実したお

休みとなりますよう、御協力をよろしくお願い致します。

近年、児童が各御家庭にあるパソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機などを用いて、インターネットにWIFI接続し、不適切な情報にアクセスする機会が増えています。最近、度々報道されたように、SNSにおいて、自殺願望を投稿するなどした高校生の心の叫びに付け込んで、言葉巧みに誘い出し殺害するという極めて卑劣な事件も発生しています。

思春期を迎えた児童は、自分の悩みを直接保護者の方に聞きづらく、自分自身で抱えこんだり、利害関係のないSNS上に救いを求めてしまうことも少なからずあります。

冬季休業中、児童が興味本位でアクセスすることがないよう、フィルタリング及び各御家庭でのルールを作った上で利用するよう児童と対話を進めてください。犯罪に巻き込まれた児童に対する調査の結果、60%を超える児童が家庭において注意を受けたことがないという調査結果も出ています。特に高学年においては、話題として扱い、家庭での利用ルールを定めることを推奨します。

また、子供達の悩みを引き出す手段として、自殺の危険を感じた場合の対応で使われる「T・A・L・K」の原則は、児童の心の悩みを引き出すことに有効です。

[Tell: 子供にあなたのことを心配していますよというメッセージを届ける。]

[Ask: 不安なことがあるの? 心配なことを教えて。など相手の思いを引き出す質問をする。]

[Listen: 叱責や助言をせずに子供の訴えにとにかく耳を傾ける。]

[keep safe: 危険を感じたら、子供を一人にせず、専門家や他から助言を求める。]

というものです。まずは、身近に相談できる相手がいるという安心感を持たせることが最も大切です。その上で、大人の価値観や経験知を押しつけないで、聞いてくれる存在がいるという感覚を子供がもつことができれば、少しずつ心を開いてくれます。

成長に伴い、自分自身のことを語ることを躊躇する児童が増えてきます。日常と少し違う様子や表情、友達関係、家での過ごし方の変化などに目を向けて見ることも大切です。保護者の方が把握された児童の悩みや変化については、積極的に学校に相談してください。専門家を招いて相談することも可能です。冬季休業中は、家族が最も距離を縮めて話ができる時間だと思います。どうぞ、我が子と向き合ってみてください。よろしくお願い致します。

右の電話番号は、児童が抱えている悩みや、相談事を24時間で受け付けている無料のSOSダイヤルです。いざ、困った時のために、どこかに控えておくと良いと思いますので、紹介致します。

じかんこども
24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

(なやみ言おう)

